

2022年度 光塩女子学院中等科 【第2回】

社会入試問題

2022年2月2日(水)実施

《注意事項》

- ① 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
- ② 解答用紙に、受験番号と氏名を書きなさい。
- ③ 解答は、解答用紙に書きなさい。
- ④ 問題は、7ページまであります。

次の文章を読んで、以下の問い合わせに答えなさい。

2022年は、「※零細漁業と養殖の1国際年」です。漁業は、海に囲まれた日本列島でくらす私たちの生活を、古くから支えてきました。2東京都内では、縄文時代における日本最大級の貝づかが発見されています。奈良時代には、税として3都に納める各国の特産物の中に、4あわび、わかめ、塩などがふくまれていました。やがて造船や船を操る技術が向上するにつれて、より遠くの海に出て、漁業を営むようになりました。江戸時代には、5 2 そうの船で A の群れを囲むようにしてあみを投げ入れて浜に向かい人々が浜でそのあみをたぐりよせる漁法、船からまいたえさに集まる B をつりざお 1 本でつり上げる漁法、船ごとに組織をつくり分業して C をとる大がかりな漁法などが発達しました。明治時代には、6 ( ) 戦争に勝利したことでのオホーツク海の漁業権が認められ、そこでとれるサケやカニをかんづめに加工する工場で7多くの労働者が厳しい条件で働く社会問題が起きました。

その一方で、限りある漁業資源を補うために8養殖が発達しました。9アクセサリーに多用されている（      ）も、天然物が絶めつの危機に直面したことから、120年の年月をかけて一大養殖産業として成長しました。

2020年には、10日本の一帯あたりの魚を買い入れる量が18年ぶりに増えました。しかし、11世界的な気候変動が影響し、漁業に従事する人々の生活が不安定になることがあります。取る魚種や漁法を多様化させるほか、12脱炭素に向けた漁船の電動化などの対策が提案されています。13海の豊かさを守るために、自然環境全体への働きかけも欠かせないのであります。

※零細：非常に小さい規模。

問1 下線部1の「国際年」は、国際連合が毎年特定のテーマに基づいて設定します。このことについて以下の（1）～（3）に答えなさい。

（1）国際連合が発足した年に関連することがらを正しく述べたものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 国際連合が発足した年に、第一次世界大戦が始まった。
- い 国際連合が発足した年に、第二次世界大戦が終わった。
- う 国際連合が発足した年に、日本が加盟した。
- え 国際連合が発足した年に、アメリカが脱退した。

- (2) 国際年のテーマには、平和と安全、開発、人権の問題などが取り上げられます。このうち、「平和」は、現在の日本国憲法で以下のように定められています。空らん①～④に最も適する語を語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。なお、同じ番号には同じ語が入ります。

#### 日本国憲法第9条

- 1 日本国民は、正義と秩序を基調とする（①）を誠実に希求し、國權の發動たる（②）と、（③）による威嚇又は（③）の行使は、國際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- 2 前項の目的を達するため、（④）その他の戦力は、これを保持しない。國の交戦権は、これを認めない。

語群： あ 陸海空軍 い 武力 う 戰争 え 國際平和

- (3) 國際連合では、2015年にSDGs<sup>エスディージーズ</sup>を採たくし、地球規模の課題解決に向けてさらなる取り組みをうながしています。このことに関する説明のうち、あやまりがあるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ SDGsとは、「持続可能な開発目標」を意味する。  
い SDGsは、地球規模の課題を17の領域に分けている。  
う SDGsによって、2020年に世界の貧困はなくなった。  
え SDGsは、2030年までに達成することをめざしている。

問2 下線部2について、以下の(1)～(3)に答えなさい。

- (1) この貝づかでは、貝がらや動物などのほねが長さ1km、ほぼ約70～100m、高さは最大で4.5mも積もっていました。さらに貝をゆでる設備も発見されています。これほどの量の貝を一つのムラだけで消費することは難しいそうです。このことからどのような可能性が考えられるかを述べなさい。

(2) 縄文時代の人々は、以下のような主要な食料からカロリー（食べ物が消化されたときに出す熱量）を得ていたようです。以下に挙げる食料について、得られるカロリーの割合が大きいものから順に円グラフに示しなさい。

木の根など	約 16%
魚	約 14%
木の実	約 51%
鳥やけもの	約 15%
貝	約 4%

（『日本考古学を学ぶ』より）

(3) (2) で挙げた食料を、植物性と動物性に分けるとします。このうち動物性食料から得られるカロリーの割合を数字で答えなさい。

問3 下線部3の「都」について正しく述べたものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ この都は琵琶湖に面していた。  
い この都には天守閣をもつ城が築かれた。  
う この都は1200年近く日本の首都だった。  
え この都は中国の都を手本にしてつくられた。

問4 下線部4とその主な産地を以下に挙げました。

右の地図の中からあてはまる場所をそれぞれ  
選び、記号で答えなさい。

- (1) あわび — 隠岐  
(2) わかめ — 佐渡  
(3) 塩 — 淡路



問5 下線部5の空らんA～Cのいずれにも入らないものを一つ選び、記号で答えなさい。

あ イクラ い カツオ う クジラ え イワシ

問6 下線部6について、以下の（1）～（3）に答えなさい。

（1）空らんに最も適する語を一つ選び、記号で答えなさい。

あ 西南 い 日露 う 太平洋 え 朝鮮

（2）（1）で答えた戦争について正しく述べたものを一つ選び、記号で答えなさい。

あ この戦争後に、アメリカのポーツマスで条約を結んだ。

い この戦争後に、日本の下関で条約を結んだ。

う この戦争後に、フランスのパリで条約を結んだ。

え この戦争後に、ドイツのポツダムで条約を結んだ。

問7 下線部7のような問題は、現代社会でも起きています。現代社会で実際に見られる状態として最もあてはまるものを以下から一つ選び、記号で答えなさい。

あ すべての労働者が、休みを取らずに仕事と介護や育児を両立させている。

い 人手不足を補うために、12歳未満の子どもが工場などで働いている。

う すべての職種にわたって、女性が男性よりも高い給料を得ている。

え 長時間労働による過労が原因で、心身の健康をそこなう労働者がいる。

問8 下線部8について、以下の（1）と（2）に答えなさい。

（1）「養殖」の説明として最もふさわしいものを一つ選び、記号で答えなさい。

あ つり上げた魚などを、その場で海や川に放すこと。

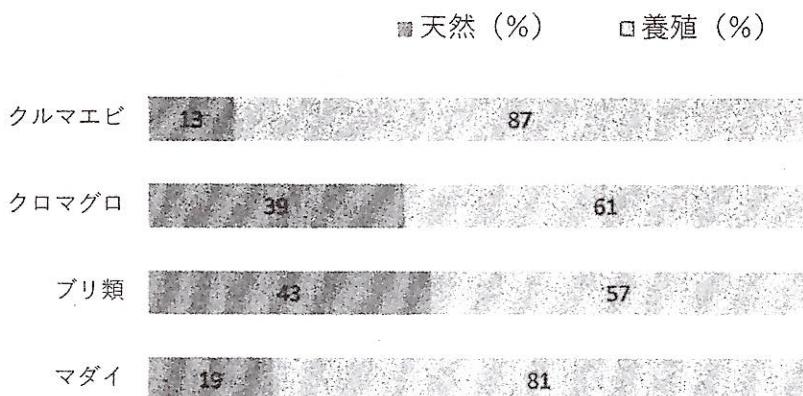
い 水族館などで、自然と同じ環境にして展示すること。

う 魚や貝などを、人工的に環境を整えてふやすこと。

え 魚や貝などの漁期を定め、取りすぎを防ぐこと。

(2) 以下のグラフは、主な魚種の養殖生産割合（令和2年）を表しています。  
このグラフから読み取れることを一つ選び、記号で答えなさい。

### 主な魚種の養殖生産割合 令和2年



(全国海水養魚協会ホームページ「お魚大百科」より)

- あ グラフ中のどの魚種も、養殖より天然の消費量が多い。
- い グラフ中のどの魚種も、天然より養殖の生産量が多い。
- う 不足する天然の魚種は、輸入にたよっている。
- え 私たちがふだん食べる魚種は、すべて養殖である。

問9 下線部9について、以下の（1）～（3）に答えなさい。

- （1）空らんに最も適する語を一つ選び、記号で答えなさい。

あ ダイヤモンド い ルビー う 水晶 え 真珠

（2）次の①～③は、（1）で答えた産品の日本国内における養殖生産量上位3県について説明しています。それぞれの県名と県庁所在地名を答えなさい。

- ① 東シナ海に面し、離島の数が多い。江戸時代には出島が築かれた。
- ② 近畿地方の南東部に位置し、リアス海岸が発達した志摩半島がある。
- ③ 四国地方北西部で、瀬戸内海に面している。全国有数のみかん生産地である。

(3) (1) で答えた產品の加工品出荷額第1位は兵庫県です。その理由の一つに、幕末以降のできごとが関係しています。そのことを正しく説明した文章を一つ選び、記号で答えなさい。

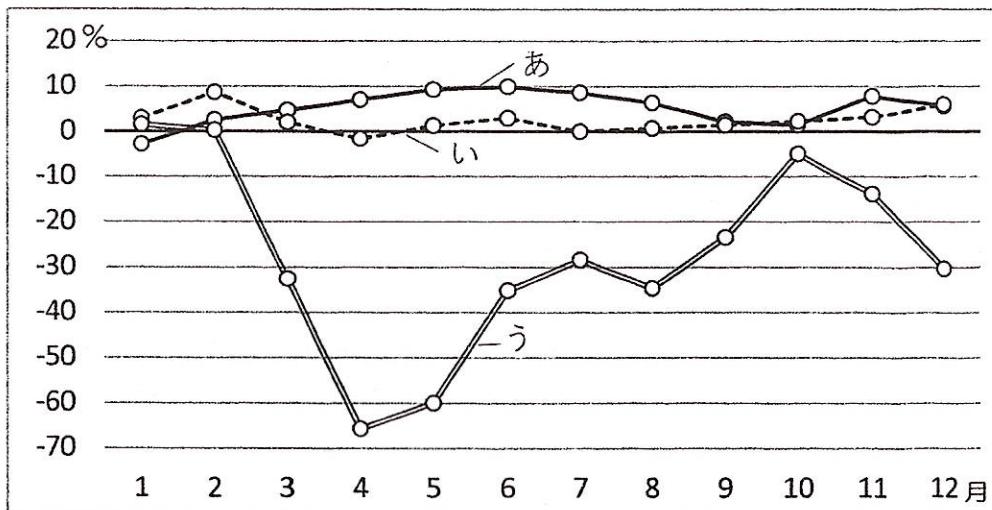
- あ この地は、欧米と結んだ条約で開港が決まり、輸出港として発展したから。
- い この地には台場が築かれ、オランダ人や中国人の船をこうげきしたから。
- う この地にあった港を源頼朝が拡大し、明との貿易のきょ点になったから。
- え この地にGHQが本部を置いたことにより、軍港としてにぎわったから。

問10 下線部10について、以下の(1)と(2)に答えなさい。

(1) 令和2年度版水産白書によれば、2020年に生鮮魚介類を1世帯当たりで1年間に買い入れた量は、前年比4%増の23.9kgでした。では、2019年の1年間に1世帯当たりで生鮮魚介類を買い入れた量を求めなさい。ただし、小数第1位を四捨五入して整数で答えなさい。

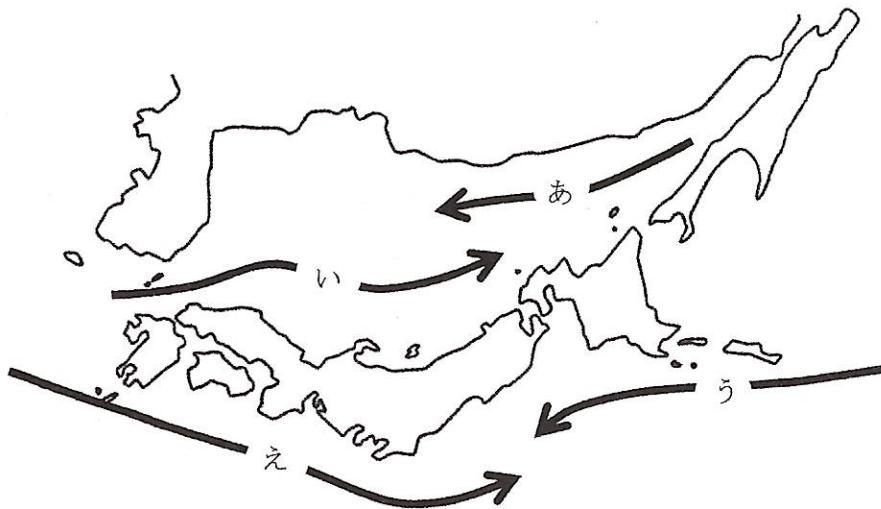
(2) 2020年の家計支出金額(食料品)の前年同月比をグラフに表すと、「外食」は4月に最大で66%減りましたが、生鮮食品のうち「魚介類」は1月から増え続け、6月には10%増に達しました。以下のあ～うは、「外食」、「魚介類」、「調理食品」のいずれかを表しています。このうち、「外食」を示すものと、「魚介類」を示すものをそれぞれ記号で答えなさい。

外食・魚介類・調理食品の1世帯当たりの月別支出金額の推移(前年同月比)



(令和2年度版水産白書より)

問 11 下線部 11 には、海水温の上昇や海流の変化がふくまれます。日本周辺の海流を示した以下の図について、以下の（1）と（2）に答えなさい。



（1）図中のあ～えのうち、「暖流」にあたるものすべて選び、記号で答えなさい。

（2）図中のあ～えには「親潮」とよばれる海流があります。従来、親潮では回遊魚が豊富にとれていました。以下のうち、回遊魚にあてはまらないものを一つ選び、記号で答えなさい。

あ マグロ　い サンマ　う ニシン　え コイ

問 12 下線部 12 について、以下のように説明しました。空らん①と②に最も適する語をそれぞれ漢字で答えなさい。

一般的に、日本の漁船は（①）を燃料にしているが、それを電動化することで、（②）炭素の排出量を減らそうとしている。

問 13 下線部 13 に関連して、「おいしい海産物は山がつくる」、「森は海の恋人」などといわれることがあります。これらのことばはどのようなことを示しているのかを具体的に説明しなさい。なお、「栄養分」の語を必ず用いて述べなさい。